

## 3 | 成果物2 「冷蔵庫アプリ」

### 3-1 : 概要

システム班では一人暮らしの学生が「余り物の消費」を通じて他のユーザーとコミュニケーションが取れる Web サービスという形で制作した。ハード班が作るパーティー用の機器とは別に、「デジタルなサービス」としてその機能を提供し、相互でコミュニケーションを図りやすいためツールとして利用されることが当アプリの目的である。

また、このアプリは個人用の「冷蔵庫アプリ」としても利用する事が出来るため、個人的な利用に留めてもある程度の利益が受けられるような設計になっている。

制作したアプリケーションでは、以下の機能が利用可能である。

- ・ フレンド機能
- ・ 冷蔵庫の食材の管理
- ・ イベントのセッティング
- ・ 豆腐ドーナツレシピ集

### 3-2 : 制作するにあたって

今回制作したアプリケーションはシステム班3人で開発を行った。今回制作をするにあたり、3人が最も気をつけていた点は「スケジュールの組み方」である。4月の段階で1年間の予定を組み、作業の進行が遅くとも、あくまで予定通りに作業を実施した。3人がそれぞれの得意分野をお互いに理解した上で作業を行ったこともあり、最後まで特に滞り無く進行した。

また、ページデザインの素養がほぼ無かったシステム班のメンバーの代わりに、デザイン班にページデザインを担当してもらった。最終発表では非常に良い評価をいただけたため、システム班一同としては仕様・ビジュアルも含め満足のいく結果となった。進めすぎず遅れ過ぎず、最終発表までしっかりと予定通りに作業が遂行されたことは、メンバー全員としての評価点である。

### 3-3 : 問題点 , 改善案

アプリケーションは中間発表当時「フレンド機能」や「共有ボード」といった機能は無く、不完全なものであった。実際に中間発表の際にプロジェクトメンバー以外の人に利用して貰うことで、「サイトの行き先が分かり辛い」「何の機能があるか一目で分からない」などの問題点をいただき改善を繰り返した。

まだまだ「メモ」や「通知」など追加したい機能があり、考えれば考えるほど後から足せば良かったと思う機能が出てきた点や、必要は無いと判断し実装

を見送った機能の中にも、利用者の話を聞くと「欲しかった」と言われる機能があった事は、反省点として挙げられる。年間を通して省みると、「システム班単体」としての改善点はほぼ無いと言って差し支えない結果であった。

### メニュー画面



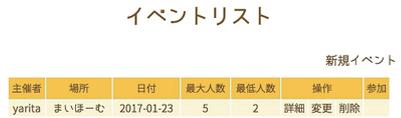
### 冷蔵庫管理画面



### フレンド画面



### イベント画面



### レシピ画面

